

# ふじがわ

6 月号 昭和57年 6 月21日 発行 No. 251

## 町のメモ

昭和57年 6 月 1 日現在	
人口	16,960人
増減	- 8人
男女	8,385人
女	8,575人
世帯数	4,318世帯
面積	31.09km <sup>2</sup>

富士川町 企画開発課

## 一期の体験を生かし 活力ある町政の実現を

### 常葉町長語る

5月16日に行われる予定でした富士川町長選挙は、5月10日に立候補届出を締切った結果、立候補者は常葉雅文現町長が一人であったため無投票当選となりました。そこで、第二十六代町長に再び選ばれた常葉町長に今後の抱負を語ってもらいました。

私は町民のみなさんの力強いご支援に感謝の意を表わすと同時に町政を運営するにあたり一期四年の体験と豊かな発想を基盤として「活力ある町政の実現へ向って、次の五施策を強力に推進していきます。」

◎町の行政改革  
町では、国政事務と地方事務を通じて毎日仕事を行っています。その仕事が多様化し行政需要が増加している反面、古く無用化した仕事でも法律の規定により行わねばならないものもあります。このため、町行政における事務事業について、職員数の適正化や現業部門を重点に町民サービス体制をはかりながら総合的に見直しを行います。

◎町財政の健全化  
町の昭和57年度予算は総額二十四億六千二百万円、その財源内訳は自主財源六一・六割、依存財源三八・四割となっています。このように、自主財源が六〇割を超える財政運営は健全財政といえます。今後も行政の効率化と、行政の守備範囲の見直しを長期計画に併用し、行政コストを下げながら、しかもサービスを下りさせずに健全な財政運営に努力します。

◎学習社会の推進  
子どもたちの将来を考えた時、親子や家族での話し合いほど大切なものはないと思います。そこで学校と家庭、そしてそれを取りまく地域社会を含め、緊密な連携のもとに地域ぐるみの学習社会づくりの実践につとめます。

また、町民のみなさんの豊かな情操を育てる文化活動の推進や文化遺産の保存愛護の促進をはかり、総合的な教育基盤の確立に努力します。

◎都市整備事業の推進  
現状を見つめ、将来を見通した計画のもとに、国・県を始め町議会、区長会、商工会、諸団体および町民のみなさんのご理解とご協力により、富士川町が平和で安全な、そして自然と文化の融合した人間性豊かな町になるよう都市整備を推進します。

◎スポーツ・健康・福祉  
町民のみなさんが心身ともに健康であることを願い、社会体育指導者の充実やスポーツ、レクリエーションの普及振興事業を積極的に推進していきます。また、若男女年齢に適したスポーツを通じ人と人との連帯意識の高揚をはかり明るく地域社会を目指します。さらに、高齢化社会の問題は今後最大の課題となると思います。ですからこの問題に対し、物質的・言葉だけの福祉でなく、心のふれあう地域福祉の創造に力を入れ、生活の向上に努力します。

この五つの施策を実現するためには、町民のみなさんはもちろんのこと、町議会、区長会、諸団体との話し合いの場をより多く持ちその内容をご理解いただき、一方細心な注意をしながら大胆な発想で、みなさんとともに頑張りたいと思います。

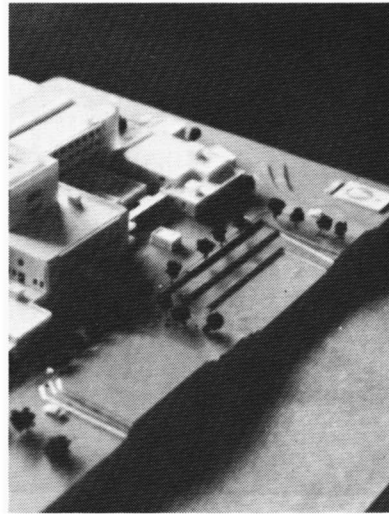
最後になりましたが、現在着手している事業や、これからの主な事業を列挙しますと――



富士川町長 常葉雅文

- 富士川橋の架替え
  - 中央公民館の建設
  - 共立蒲原総合病院の完成
  - 県営中野住宅団地の完成
  - 富士川一身延線バイパスの完成
  - 野田山自然公園の建設
  - 吉津砂防ダムの建設
- ――などになります。以上、町民のみなさんのご理解とご協力をお願いして、新たな出発への決意とさせていただきます。

# 昭和58年4月開院を目標に 共立蒲原総合病院の建設が進む



でみなさんを迎えます  
五階建・高さ23.3m  
建築面積5,503.8㎡

共立蒲原総合病院（管理者―土屋博蒲原町長）は、昭和30年10月にベット数・百十床を備え、地下一階、地上三階の鉄筋コンクリートの近代的な病院として蒲原町の現在地（蒲原一三七番地）に開院しました。その後、増え続ける診療者や患者のみなさんに最新の医療サービス―と、増築や最新の医療機器の導入を重ね、現在に至っています。しかし開院から四分の一世紀が過ぎた現在、建物自体の老朽化が著しく、みなさんの関心が深い東海大地震に対する耐震性や、医療の高度化に対応できるか―などの問題が持ち上が

## 本体工事は 進捗状況が45%

現在、建設が進められている大衆建は、みなさんご存知のよう以前には「県立庵原高等学校」の設置候補地にも上げられたこともあり、晴れた日には富士山や富士川、岳南工業地帯、駿河湾、伊豆半島などを一望できる非常に環

境に恵まれた地区です。ここに共立蒲原総合病院の移転改築が決定したのは、昭和54年度の末のことでした。その後、地域や地主のみなさんを対象に現地説明会や、関係者による県内外の病院視察などを行い、昭和55年10月から買収交渉に入り、地主のみなさんの協力で約三万六千四百平方メートル（約一

り、昭和五〇年代初頭ころから改築の声が高まってきました。このため、共立蒲原総合病院組合（庵原三町・富士郡芝川町）では病院建設特別委員会を設置し、数カ所の改築候補地を慎重に審議した結果、昭和54年末に当町大衆建に移転改築することを決定しました。現在では、昭和58年4月開院を目指して造成工事や建築工事が急ピッチで進んでいます。そこで今月号では、昭和58年4月に大衆建に生まれ変わる地域医療の中心「共立蒲原総合病院」を、みなさんに紹介することにした。

一千坪）の買収が完了し現在に至っています。では、最初に総体から話してみます。新病院設計計画によると、買収した用地内には病院本体の他医師住宅・看護婦寮・看護学校などの付属建物、二つの駐車場（百五十台収容）良好な環境を作る緑地帯なども設けられています。ここで少し各工事の進捗状況（5月末日現在）をみると――

## 造成工事

昨年10月19日に着工し、昨年2月28日完成予定で現在八五

## 植栽工事

設計を財団法人・静岡



土橋千恵子さん  
（宮町）

病院にお見舞いなんかに行くといつも思うのですが、妊産婦さんのベットが高すぎるような気がします。それに付添人のための食堂も欲しいですね。静岡の済生会病院には付添人なんかの食堂があるんです。そしてメニューの中から自分の食べたいものを選んでみます。そんな食堂もいいですね。



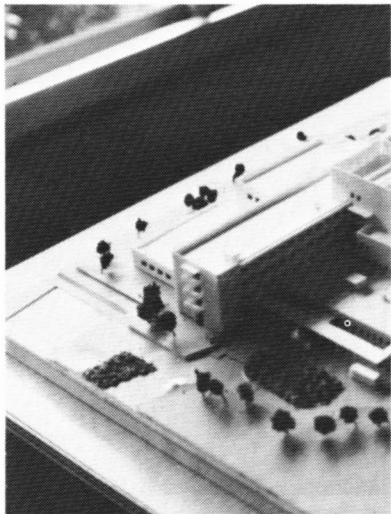
関原至向子さん  
（宮町）

## 私なら こんな病院に

子どもが急に歯が痛くなって、今は歯医者さんに予約して長く待たなければならぬですね。ですから歯科も欲しいです、それに耳鼻科も。それから病院というと、どこでもカーテンが白ですが、患者さんたちは気持ち弱くなりがちですから、気持がなごやかになるような色を使ったらどうでしょうか。

## 設計には 五つの特色が

県グリーンバンクに依頼予定――となっております。また、国道一号线から病院への乗り入れ道路（町道幸町―大衆建線）については、昨年7月30日に工事を発注し、延長二百二十メートル・幅員六・五メートル・歩道一・五メートルで本年3月完了、4月から供用開始しています。



来年の4月にはこの姿  
（概要）  
鉄筋コンクリート  
延床面積12,053.5㎡  
エレベーター3基

ここでは病院本体について話してみます。この病院は先にも記しましたが、開院を昭和58年4月に予定し、鉄筋コンクリート五階建（建築面積五千五百三・八平方

## 建物

延床面積一万二千五百三・五平方メートル、高さ二十三・三メートル）となっております。そして、設計上の特色として――

通路部分は屋根から光をとるなど自然の採光や通風の確保につとめている他、各種機器類の維持点検の容易さや節水・省エネタイプの設備、使用効率を高めるシステムなどを採用している

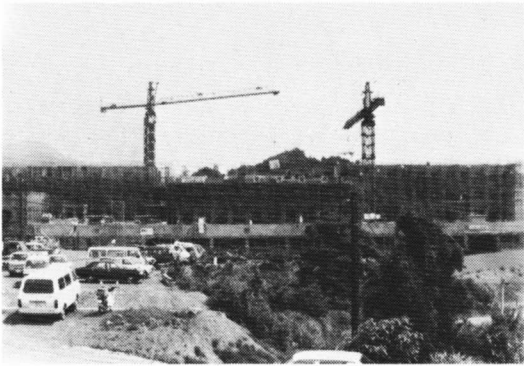
①安全性の高い建物  
新耐震設計基準に基づいた耐震設計を行い、防災設備については、自家発電機や非常用照明、自動火災報知機、排煙設備、避雷針設備、屋内消火栓、連結送水管（消防車からこの管に連結し送水できる）スプリンクラー設備、ハロンガス消火設備、中央監視制御設備、避難設備を設けている

④環境を考えた建物  
患者のみなさんの環境を考えた東南面に病室を配置する他、西側の東名高速道路の騒音防止やエネルギー棟の遮音にもつとめている

②動線のわかりやすい建物  
みなさんが外来診療に行ってもすぐわかるように、一階に外来診療部門と検査部門を、二階以上に病棟部門を設置している

⑤成長可能な建物  
医療需要の増大や高度化に対応できる機能・形態を考え、西側と南側に将来増築を可能にしてある他、核医学用諸室の確保なども行っている

工事が急ピッチで

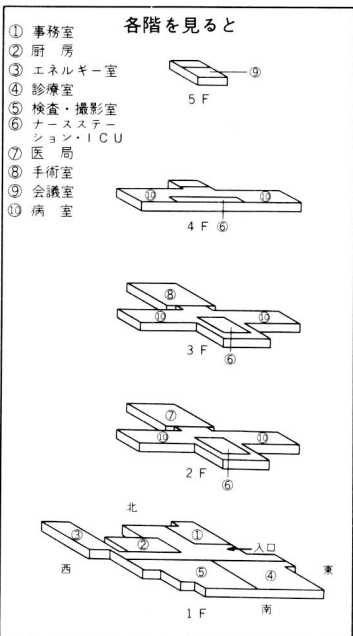


## 診療科目数は 11科でスタート

よう目指しています。つぎに、来年4月に病院が開院すると、みなさんが一番関心のある診療科目数やベット数などを話してみます。

## 駐車場は 百五十台を収容

最後に、病院までの交通手段について話してみます。まず道路については、みなさんご存知のように国道一号线から町道幸町―大衆建線が本年4月に供用開始されていますし、来年4月開院までには病院用地内に幅員四・五・七メートルの各道路が開かれます。そして、マイカーのみなさんには百五十台収容できる駐車場ができますし、バスは富士急行と山梨交通が、タクシーは蒲原・岳南・富士急行が乗入れする予定です。



今月のテーマ

# もって帰る非常食の点検

## 広報デイスカッション

静岡県は予想される「東海大地震」の中心地。私たちは、いつ起こるかもしれないこの地震や、その他の災害に対して、いつでも万

全な備えをしなければなりません。そこで今月は、みなさんの家庭の地震対策について投稿していただきました。

### 保存食は

#### 定期的な交換

小山 太田公子さん (55)

はるかに富士一帯が見える眺めのよいみかん山で静かに毎日を過ごしていますと、災害などは縁遠いことのように思われて、日ごろの

心がけが、ついうとくになりがちです。でも「いつ」とは分らない未定のできごとのためには、各自綿密な防災計画を立てる必要があります。東海地震の発生が叫ばれて以来、観測網が引かれ、大地の微妙な動きをキャッチできるそう

ですが、瞬間に襲われたらどうするかを考えておきたいものです。我家では、十数年前の狩野川台風の際、現地の整理に参加した主人が、今でもその恐ろしさや何ともやりきれなかつた思いを時折話してくれます。そのため、身近な火

ため、実際には消火活動に時間がかり困難である。このような当地区に昭和54年3月、町から可搬式動力ポンプが貸与され、防災倉庫に保管することになった。このため、現在では防災機具の点検を年四回行い、不慮の災害に備えている。その一方、先にも話したように昼間は男性が不在となる場合がますます多くなると予想されるので、現消防団員や退団した人、防災リーダーなどの人々により、留守をあずかる婦人たちを中心としたポンプの点

検操法訓練を行っている。始めたころは女性のため、機械の様子が分からないとか、力が弱いためエンジンが始動しないなど、非常に苦労したが、熱心に訓練を重ねることにより、大変上手になってきた。



提言者 植松 茂さん

私たち小山地区は世帯数四十九世帯、人口二百二十五人で、全世帯の七〇割が農家である。最近みかんが不況のため兼業農家が増え、勤める人が増加したために昼間は不在の場合が多く、老人、婦人、子どもだけというのがその実態である。また地理的に常設消防所からも遠いことと、道路事情も悪い

その他、当地区では各家庭はもちろんのこと、屋外にも数カ所に消火器を設置するなどして区民一人ひとりの防災意識の高揚をはかりながら防災活動を進めている。今後ともこのような活動は続けていきたいものです。

蒸溜水、現金少々などが内容です。別に水筒もそばに備えておきます。防災の陣頭活動には遠い存在の老人も、家庭の非常食の点検、避難場所の見廻りぐらひは、自分たちですよう心がけましょう。

袋の折々の点検とポリタンクの中の飲料水の取り替えを励行しようと思つた。また、地震の経験談などに耳を傾け、そして地域社会の地震対策の活動などには進んで参加し、いざその時に、少しでもあわてないための準備をしておこうと思つた。

副木やメガホンに 画用紙を用意 南町一 天野房子さん (57)

あらためて非常食を点検、一つ一つビニール袋の中味を調べてみる。中味をそれぞれに分けてビニール袋に入れてあるからだ。こうしておけばぬれる心配もなく、一目で中ものがわかるし、サッと取り出すことができる。警戒宣言が出されたら、この中へ早々通帳などを入れたら、これで安心。そしてもう一つ、袋の中に画用紙ほどの紙を五、六枚入れてある。だれかがけがをししたら折って重ねて副木の代用に、また大声で連絡する場合にクルクル巻いてメガホンに——そんなふうな考え

の始末など、就寝前には必ず見て廻ります。このようなことは、日常茶飯事にすぎませんが大切なことだと思つています。家庭内での準備は多々あります。その中で非常食の点検は忘れがちですが、今はいろいろな保存食が市販されていますので、定期的な交換しておきたいものです。現在、地域での防災計画は立てられていますから、各家庭でふだんの心がけを一層うながしていきたいと思つています。

### 防災頭布や寝袋も用意

舟山町 太田久子さん (45)

三年ぶりに、壁につるされてリックサックを開けてみることにしました。ローソク・マッチ・救急箱と、なんとこまごまと入れていることでしょうか。子どもたちの下着、今は大学生で二人ともいない。整理して取り出す。去年は防災頭布を三枚作り、今年は五人分の寝袋を買つてつるしてあります。カンパンの缶詰を開けてみると、良く乾燥していて、こがこが焼けたカンパンが出てきました。五個食べて満腹感、ジュース缶で一食分? リックの両脇のポケットには小型のリック、一つは仏様用、もう一つは貴重品用とおさまっております。年月日を書き入

### 7月のテーマ

## 子どもの遊びいま・むかし

たまたま、学校から早く帰ってきた息子が、することがなくうろろしている。考えてみれば、最近子どもたちが呼び合い固まって遊んでいる姿をみかけることがあまりない。それぞれに塾通い、けいこごと、サークル活動と、与えられた規律の中の生活が忙しからだろ

か、でも今の子はそれ自身を遊びと考えているのかもしれないが、それにもう一つ、広場はあっても、駐車場や老人のゲートボール場と、子どもたちが遊びたくても遊ぶことができない。のびのび草野球ができる所などこ

にもないような気がする。私たちの子どものころを思うと、あらゆる所が遊び場で、毎日毎日、隣近所の子を呼び合つては、上級生や下級生と一緒になり、ならんで順番を待ちながら、草っ原で石けりをしたり、

してある。

### 法事の引出物に非常持出品を

儘下町 小川慶子さん (56)

「富士川断層の観測を読み、時には疑いたくなる地震も確かに緊迫している状態を知りました。そこで私の防災について話してみ

と、先んず——  
①身の安全を、夜の避難所は布団を出した押し入れの中(頭の方にして寝る)。非常食の中味は町から配られたポスターを参考に、それに加えて幼児のための紙おむつ、おおいひも、他に大風呂敷一人用炊飯袋(ハイゼツクス)。置き場所は防火用の倉庫へ。たんすは寝室に置かない。非常とび出し口も決めておく

②火の始末について、消火器と消火布の用意、お風呂の水は捨てない、不要の時のコンロは止めておく

——などです。その他、地区ぐるみの防災も大切なこと。関東大地震にただ一区、神田地区に死亡者がなかつたと聞きますが、原因の一つに神田つ子のお祭り好きの氣質が隣近所をお互によく知っていたという事です。また私は、法事の時の引出物に、非常持出品を用いたことも防災の一つです。

### いざその時に

#### あわてない準備を

宮町 柚木恵美子さん (34)

戦後生まれの私は大地震の経験がない。現実に富士川断層というありがたくない地形の上に日常生活を営んでいるのに、心構えがたらない。戦争も知らず、大きな天災にも見舞われたこともない、そういう点であまりに平和であつた故に、東海大地震はまったくつかみどころがない。しかし、大地震はいつきても不思議でないといわれているほど確率の高いもので、無関心ではいられない。そのため日ごろ何を心がけておくべきか、やはり考えておかねばと思う。

そこで、避難方法・場所・連絡手段を今一度確認して心に刻みつけ、合わせて自稱「家族の健康管理者」たる私の仕事の一つに非常

「備えあれば憂いなし」の教えのとおり、常に非常時に対処する心構えが大切と思つています。幸い私の区は、仲出川区長さんの熱心な指揮のもとに、防災・防火の大ベテランの和田さんや加茂さんをはじめ各班の防災委員のみなさんのご指導により定期的に訓練に精進いたし、万全に近い準備にありま

す。しかし「災害は時を選ばず」で、その発生、経過は予測もしい結果となりがちであることを覚悟しなければなりません。

そこで、私たちは常時、火の元や最低の食品の確保に留意することを忘れてはなりません。我家では、非常食の点検は私の役目です。一番みやすい厨房の棚においてあります。だれにもすぐ目につ

き、手が届くからです。乾パン、非常米、各種の缶詰、包帯、ばんそうこう、ヨードホルム、電池、

非常持出品は 一番みやすい厨房に 本通り一 望月録さん (71)

### 非常持出品は 一番みやすい厨房に

本通り一 望月録さん (71)



### 7月のテーマ

子どもの遊び、いま・むかし

◎対象者

子どもからお年寄りまで、どなたが投稿してもかまいません。

◎字数

四百字づつ原稿用紙一枚以内

◎締切り日

7月6日(火)まで

◎投稿先・問い合わせ先

富士川町役場・企画開発課 岩淵一二期番地

◎注意事項

匿名者の原稿は掲載しませんから締切り日までに、原稿用紙に必ず住所・氏名・年齢を記して投稿してください。投稿が多い場合には、掲載できないこともありますからご了承ください。



# ママさん記者の役場訪問記

## ～企画開発課編～

6月3日、梅雨の前ぶれのように降り続いていた雨が一段と激しさを増し大雨洪水注意報が出されている中を、新米モニターの植松ゆみ子さんと私は、役場の二階にある企画開発課を訪ねました。

私たちに、広報の仕事以外ではなんとなくなじみの薄い課のように思われましたが、話をうかがっている間に、それは私の認識不足であることがわかりました。林課長さんからうかがった同課の仕事について紹介しますと、職員七人で開発調整係、企画調整係、広報係に分かれています。つぎに、これらの係の仕事を見ることにします。

**開発調整係** 富士川町への工場や企業の誘致、住民の願いから実現した県道富士川一身延線バイパスの建設、住民の憩いの場になるように昭和55年度から始まった野田山の開発はいよいよ本年度から野田山保健休養林造成事業として公園化の工事が開始されます。また

中野団地開発も着々と進み、これらの開発にもなう用地交渉、公共施設への対策、実際に事業を行う担当各課との調整も仕事です。他に土地利用対策委員会や国土調査の仕事があります。私たちが一千平方メートルの宅地造成、二千平方メートル以上の田畑の造成をする時は、災害防止のため、事前に土地利用対策委員会の承認を受けなければなりません。また、国土調査に関することでは、土地を一万平方メートル以上売買する時は、こちらに届出が必要で、

**企画調整係** 富士川町の基本計画を策定し、これに基づいて実施計画を作り、計画的に行政を進めています。また広域行政に関しては、静清庵地区新広域市町村圏計画書の作成に加わり、町民参加で行われる総合計画審議会もこの係の仕事です。

**広報係** 私たちモニターが一番関係のあるところです。広報、無線、広聴、種々の統計調査、消費者行政に関することなど、行政と町民のパイプ役です。行政のあり方などを広く一般の町民に知らせる広報活動としては、毎月発行される広報「ふじかわ」や「お知らせ」そして広報無線、町勢要覧の編さんなどがあります。また住民の意見を行政へと広聴活動は「町政を語る会」「県民会議」などがあ



左から植松・天野両モニターと林企画開発課長

最後に企画開発課とは、この町の発展を住民とともに考え、話し合いながら実現へと移していく課であると、話をうかがいながら、私はそのように思いました。

**広報モニター 天野恵美子**

# 批判することより先に 大人がもっとと教養を

今月は非行問題について、宮町の浅場勇さんから投稿がありましたので、これを紹介してみます。

私の中学時代に学年全員が、今までに悪いことをしたと思うことを書かされました。もちろん私も書きました。でも、一人だけ悪いことはしなかったと書いて書かなかった人もいたそうです。

悪事というものは自分が悪いと思うから悪事なのだろうか。他人が悪事だと思っても自分がよければ悪事にならないのか。また、この判断はだれがするのだろうか。そして、非行少年と非行少年でないんだが決められるのか。少年自身か、それとも大人だろうか。

辞典によれば「二〇歳にならない少年で、実罪を犯したことがある者や、罪を犯すおそれのある者」とあります。非行少年の多くは、やさしい性格のいい少年たちだとテレビで放送していました。決して生まれながらに悪事が宿っていたのではなく、何とかなる不満が、や

るせなさがそうさせたのではないのでしょうか。問題は子どもと親の生（ま）の時には先生も」とで解決できない、あるいはいい方法が見つからないところにあるように思いますが、大人にとって仕事はだれもが大事ですが、仕事と同じように、もしくはそれ以上に、子どもにとって小学校高学年や中学生時代の親の教えは大事ではないでしょうか。

私の子どもたちも長男が高校生、次男が中学生となりました。私は決して子どもたちに善人であることを望みませんが、悪事は少なく誠実であってほしいものです。この世の中で一番楽なことは、先生を、親を、子どもを批判することだと思います。しかし、批判することより先に、大人それぞれがお互いに教養を持ちたいものです。

町長をはじめ町当局、教育委員会、社会教育委員会、PTAなどや、その他の各種団体が青少年のため、親のため、町のためを思い議論を合し、本当に富士川町が「非行のない明るい町」になるように努力していただきたいです。

# みなさんの お便り コーナー

今月は、みなさんから寄せられたお便りを紹介することにしました。あなたの身近に変わった話題がありましたらお便りください。

## チャンチャンコの作り方 教えたのだけ

先日、朝日新聞静岡支局の松村記者から聞いた話です。以前、立川支局にいた時、ある八〇歳のおばあさんが綿入れチャンチャンコを千枚の余も作っているの取材したそうです。その時おばあちゃんが「昔、岩瀬という所へ疎開していたころ、土地の人がみなチャンチャンコを着ていました。温か

くて仕事もしよく、こんないいものがあるのかと思ひ、作り方を覚えて、こちらへ帰ってきてからずつと作っています」と話していたそうです。

このおばあちゃんにチャンチャンコの作り方を教えた人はどなただったんでしょうね。心あたった話でした。ちよつとお知らせまでに。

**相生町 芦川照江さん**

## 楽しかった 区民ハイキング

雲一つない5月16日、私たち旭町区では第二回目の「区民ハイキング」を行いました。今年、目的地は富士市の「岩本山」ふだんマイカー通勤などで車社会にどっぷりつかって、歩くことが不足している区民の人たちが、この機会にのんびり子どもと一語に家族連れで歩いてみるか——ということ、多数の参加者が集まりました。



お弁当おいしいヨ

車を避け、富士川の河原ぞいに世間話を花を咲かせながら歩みを進めると、老人たちがゲートボールに興じる姿も見られ、実相寺の石段を登りつめて数十分、目的地の「岩本山」に到着しました。そして、山頂でのゲーム大会、家族そろっての食事の一時——和気あいあいとしたなごやかな楽しい一日でした。

**旭町 宇佐美政弘さん**



# 税の豆知識

(その11)

今回は固定資産税の税率から話してみます。固定資産税の標準税率は百分の一・四であり、制限税率は百分の二・一です。ちなみに、当町は標準税率の百分の一・四を適用しています。また、固定資産税には免税点が決まっています。同一の市町村の区域内で同一の者が所有している土地や家屋、償却資産についてそれぞれ十五万円、八万円、百万円と定められています。

つぎに、固定資産税の納期について話してみると、当町の場合にはみなさんもご存知のように、4月、7月、9月、12月と条例で定められています。しかし本年度は基準年度であったため、一期分のみ5月に納期を変更しました。つづいて固定資産税の賦課期日について話してみます。賦課期日とは固定資産の課税客体、納税義務者、課税標準、その他の課税要件を確定せしめる現在日をいいます。そして賦課期日はその年度の初日の属する年の1月1日と定められています。ですから、たとえば12月31日に土地を売却を完了したとすると、その翌年の納税義務者は買った人となるわけ

です。また1月2日に土地を売却登記を完了したとすると、翌年の納税義務者は買った人となります。さらに固定資産には、天災やその他特別の事情がある場合において減免を必要と認める人、貧困により生活のため公私の扶助を受ける人、その他特別の事情がある人に限り減免する制度があります。その他、当町は都市計画区域の線引きをしているため、区域内においては都市計画税を徴収しています。この都市計画税は、都市計画事業や土地地区画整理事業に要する費用にあてるため、これらの事業によって利益を受ける都市計画区域内のうち市街化区域の土地や家屋の所有者に対して課する目的税です。そして税率は百分の〇・二であり、固定資産税と合せて賦課徴収しています。

以上四回にわたり、固定資産税の概要をみなさんに紹介しましたが、この他に紙面に書ききれない特例などがたくさんあります。これについては、またの機会にみなさんに紹介することとし、今回で税の豆知識は終了させていただきます。しかし、税に関する疑問がありましたら、気軽に税務課に相談してください。

# 戸籍の窓

57・5・15・31届出

(敬称略)

大栗窪	川端	昌三	壽八	三男
東町一	渡邊	夕子	章司	二女
南町一	佐野	達也	仁昭	二男
〃	佐野	藍	俊安	二女
南町二	小林	知春	千洋	二女
八幡町	和泉	知恵	雅夫	長女
富士松野箱山	香苗	立也	長女	
儘下町	渡邊圭一郎	雅典	長男	

## かなしき

区名	氏名	年齢
小山	植松 常勝	五五
上町	植松あい子	六七
四十九町辻	新晴	四三
宮町	佐野 クマ	八三
東町二	芦澤 もん	八六
〃	天野 武雄	六三
南町二	手島 富代	八三
大北町	佐野ソノジ	八五

## おかあさんの知恵袋

食品に発生するカビ類は、人体に有害なものが多いので特に注意しなければなりません。一般に細菌性食中毒は、腹痛、吐き気、下痢などの症状を起こす急性中毒ですが、カビは急性毒性だけでなくじわじわと蓄積して、やがて身体をむしばんでいく慢性毒性も持っています。アフラトキシンと呼ばれるコウジカビの一種に含まれる毒性は、ガンの発病に深い関係があるそうです。この寄生した食品を多く食べれば食べるほど、発ガン率が上がるという調査結果も出ています。またパンやおもちだけでなく、意外に多いものに調味料やつけ物のカビがあります。これらについては――

◎しょうゆ――脱脂綿でこしてカビをとり除き、密封して冷暗所に保存する

◎みそ――和紙で密封すれば防げるとつてから、油でいため、砂糖とダシ汁、野菜などを入れて鉄火みそにするとよい

◎つけ物類――つけ汁だけ火にかけて沸騰させ、冷ましてからもどす

――などの方法をとれば、安心して使用できます。

## 富士川短歌会

5月詠草 (天野寛選)

小池 佐藤 ちよ  
降りやまぬ雨に気づかう裏庭の白きばたんもついに散りゆく

宮 町 荻野 敏音  
立候補の決意表明する人の足許にそよぐ白話草の群

宮 町 若月 幸江  
山合の畑にひねもす茶摘みすれば時保ちつつ鶯鳴けり

相生町 長谷川ゆり子  
島人が編むて商う茶の色に枯れて艶めく佐渡の竹笥

四十九 塩川 恒子  
雨晴れて萌黄に芽ぶく茶山原つゆ散らしつつ風吹きわたる

川 坂 若月 一郎  
降りてあゆむこの坂道は三十七年通ひなれたる石段の道

本 通 桐谷 静子  
いづこへか旅立つらしき白き杖の少女はひとり声ほがらなり

小 池 中川しな子  
流れつき岸に根を張る胡桃の木一枝覆ひて水鳥集まる

木 島 角替千鶴子  
種まきの日取り決まりて納屋に置きし育苗箱の数を確かむ

坂 下 川口 久代  
吾れひとり観劇の妙に浸りいる歌舞伎は解せぬ娘にまねかれて

## 一里塚



子ども会活動に携るのも久しぶりである。二十数年前の高校二年の時から五年間リーダーとして子どもたちと心を通じあつて活動してきた。時代の流れかリーダー当時と比べると、子どもたちの考察力や行動力は随分と変つてきている。しかし、何の汚れもない純粹な心を持つてゐることは昔も今も変つていない。毎年実施されてゐる子ども会球技大会、今年もその日が近く、我々の小部落は児童数が少ないため、他地区と合併しないかぎり大会に参加することはできないので、ここ数年不参加である。最近「おじさん、僕たちは負けてもいいからよそと一緒になつ

て参加したい。そのためには一生懸命練習をします」と子どもたちから聞いた時、胸にジーンとするのを覚えた。何故なら、自分たちから進んで勝負はともかく仲間づくりを主体に参加しようとする気持、ほんとうに嬉しいではありませんか。子どもの非行が騒がれる今日、子ども同志が高学年と低学年の縦の仲間づくりから楽しい創造力と行動力を養えば非行は必然となくなると思うし、なくさなければならぬ。そのためには、大人が子どもたちのよりよい環境づくりを推進する必要がある、小さな若い芽を大いに育て、また子ども会を通じて大人と子どもの精神的なふれあいを持ちたいものです。子どもたちはみなよい子です。愛いある心を時には快晴にしてくれませう。

A・Y

## 善意銀行へ寄託

57・4・15・31 (敬称略)

八千五百九十九円  
文化協会盆栽・水石部  
雑布五十枚 小山 斎藤 ハル  
竹ぼうき三十本

## おわび

かぎあな福寿会老人クラブ  
本紙5月号の四ページ「私たちと町のパイプ役・新区長さん決まる」の欄で、川坂区長の小永井茂作さんを茂吉さんと、また八ページ「戸籍の窓」おめでたの欄で、四十九町の古木壽一ちゃんを壽ちゃんと誤って掲載しましたのでおわびして訂正させていただきます。今後間違つた記載がありましたら、ご指摘をお願いします。